

株式会社 **プロシップ**

---

**2016年3月期  
第2四半期  
決算説明会**

2015年11月27日

**JASDAQ**  
3763

# 会社概要

<b>社名</b>	株式会社プロシップ (JASDAQ市場 証券コード：3763)	
<b>設立</b>	1969年4月	<b>沿革</b>
<b>資本金</b>	431百万円	<b>1969年4月</b>
<b>代表取締役</b>	会長 鈴木勝喜 社長 川久保真由美	<b>1978年6月</b>
<b>従業員数</b>	201名(連結215名)	<b>1980年3月</b>
<b>事業内容</b>	パッケージシステム開発販売 受託開発 運用管理	<b>1994年7月</b>
<b>グループ企業</b>	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海	<b>2000年1月</b>
		<b>2005年3月</b>
		<b>2005年4月</b>
		<b>2006年5月</b>
		<b>2009年10月</b>
		<b>2010年11月</b>
		<b>2011年4月</b>
		<b>2011年10月</b>
		<b>2012年4月</b>
		<b>2013年4月</b>
		<b>2013年8月</b>
		<b>2013年10月</b>
		<b>2015年1月</b>
		<b>2015年6月</b>

(2015年11月時点)

**I 2016年3月期 第2四半期連結業績**

**II 2016年3月期 通期連結業績予想**

# 2016年3月期 第2四半期 決算ハイライト

対前年同期比 売上高0.3%減収、経常利益0.4%増益と横ばい

- 保守売上は堅調であったが、パッケージ、受託開発、運用管理等が伸びず減収となった
- 開発生産性向上により、売上原価は減少したが、人件費の増加等から販管費が増加した

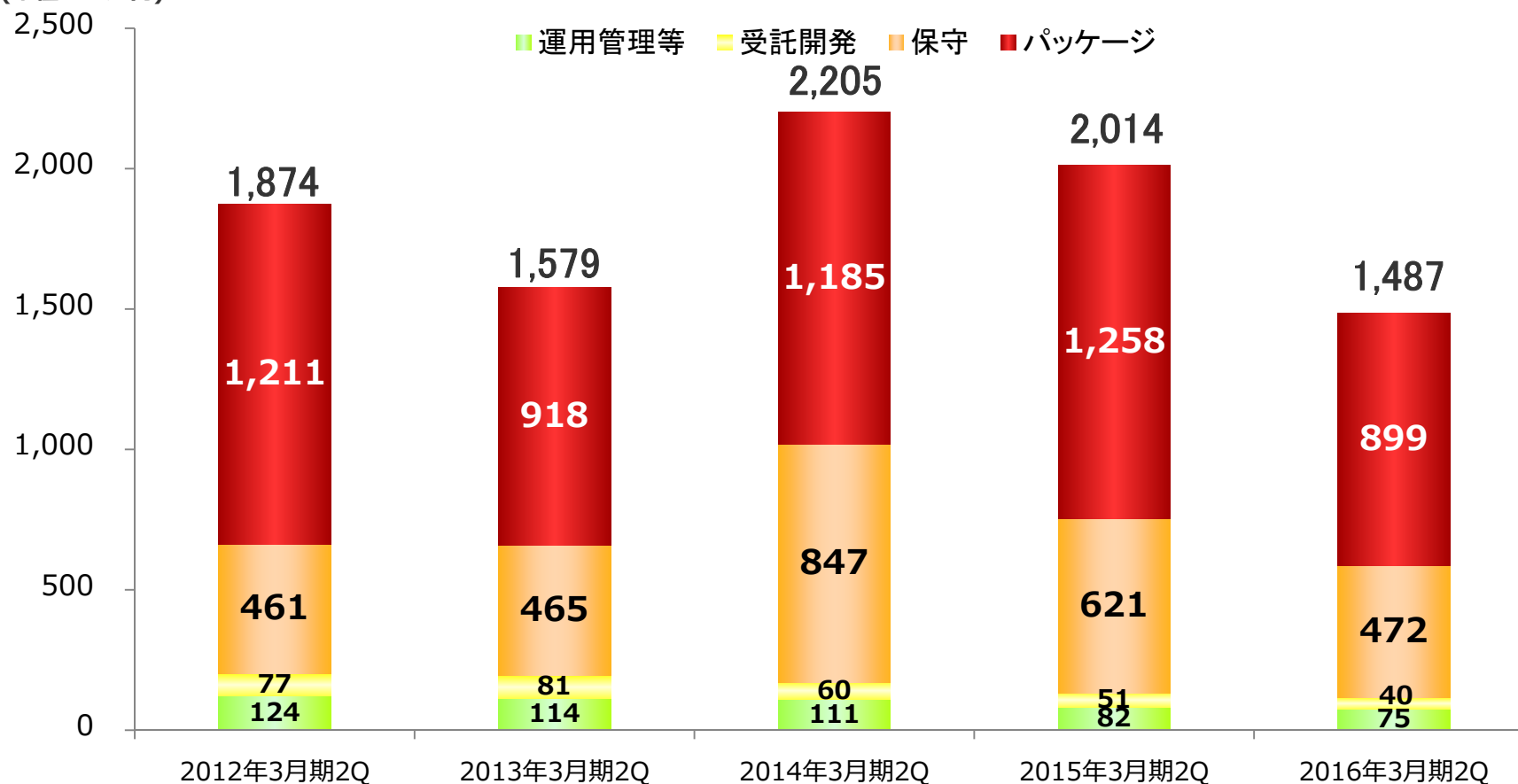
(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,605	1,601	▲4	▲0.3%
売上原価	679	652	▲27	▲3.9%
売上総利益	925	948	23	2.4%
販売管理費	460	476	16	3.5%
営業利益	465	472	6	1.5%
経常利益	472	474	1	0.4%
経常利益率	29.4%	29.6%	-	-
当期純利益	301	309	7	2.6%

## 第2四半期 品目別受注高の推移

- 企業のシステム投資は前向きさを増しており、提案中の案件は増加傾向にあるが、検討期間の長期化が続き、第2四半期累計期間における受注高は減少した

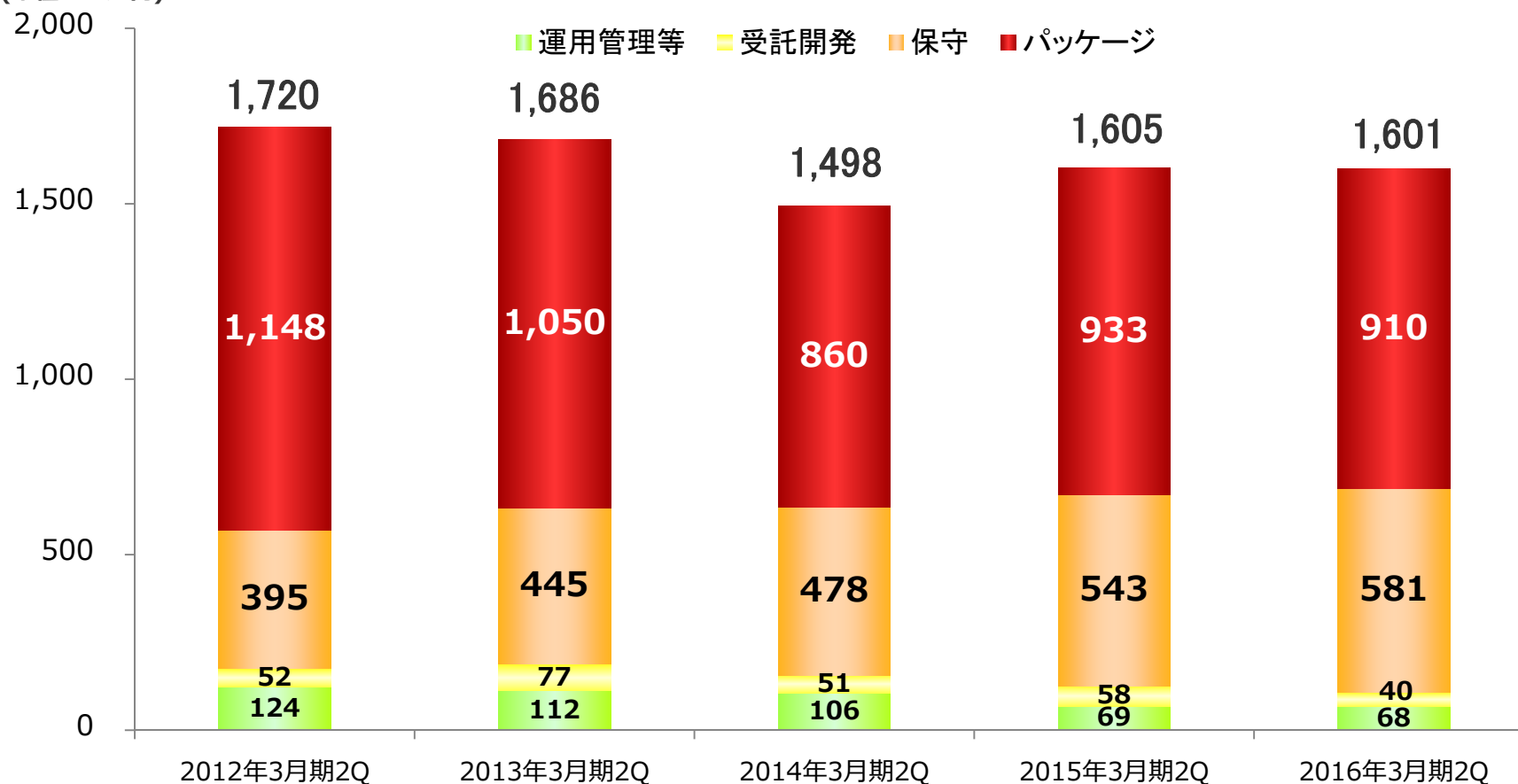
(単位：百万円)



## 第2四半期 品目別売上高の推移

- 新規顧客の獲得、保守メニューの拡充に伴い、保守売上は増加した
- パッケージ売上は、案件の長期化の影響から減少した

(単位：百万円)



# 2016年3月期 第2四半期 品目別の売上高、受注残高

- パッケージは、案件検討の長期化により減少
- 保守は、メニューの拡充による単価上昇、新規顧客獲得により増加
- 受託開発及び運用管理は、既存顧客の予算削減により減少

(単位:百万円)

2016年3月期 第2四半期				
	売上高	前年同期比	受注残高	前年同期比
パッケージ	910	▲2.5%	723	▲21.2%
保守	581	7.1%	1,671	▲1.2%
受託開発	40	▲30.6%	17	▲35.4%
運用管理等	68	▲2.2%	9	▲42.9%
合計	1,601	▲0.3%	2,421	▲8.8%

# ProPlus シリーズ ラインナップ

固定資産、リース資産管理を中心に、お客様の資産管理、契約管理、販売管理に関するご要望にお応えできるソリューションをご用意しています。

## ■ ProPlus固定資産システム (Web版)

あらゆる業種・業態の企業にマッチする  
固定資産管理ノウハウを豊富に搭載

## ■ ProPlusリース資産管理システム (Web版)

契約/物件情報管理、支払管理、開示資料作成など  
リース管理業務全般を効率化



## ■ ProPlus建設仮勘定サブシステム (Web版)

建仮計上から精算までの煩雑な業務を効率化し、  
きめ細かな建仮管理を実現

## ■ ProPlus賃貸借契約管理システム (Web版)

店舗情報/賃借・賃貸・転貸契約情報/入出金情報/  
差入保証金償還等の一元管理で業務効率化を実現

## ■ ProPlus販売管理システム (Web版)

生産財を仕入販売する卸売業・情報サービス業に  
特化したパッケージシステム

## ■ 現物管理システムPit (SaaS)

スマートデバイスによるバーコード読み取り、  
画像による突合により棚卸作業を効率化



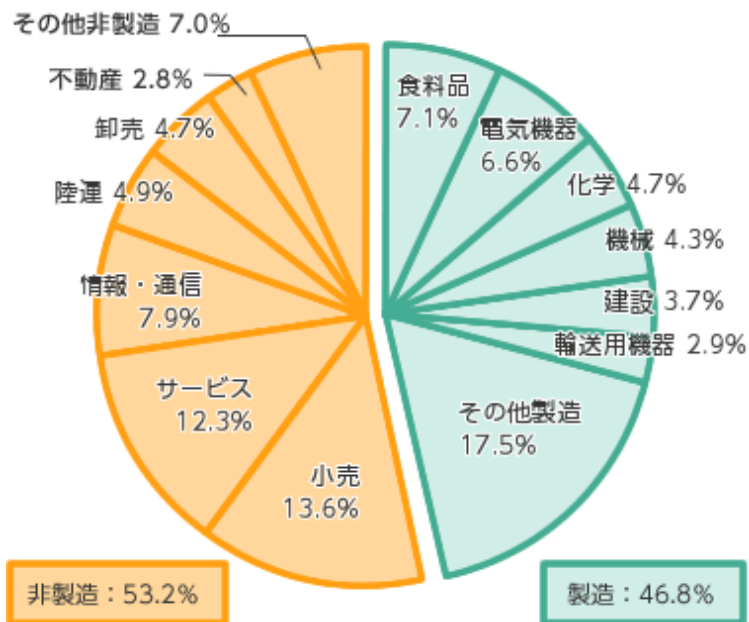
# ProPlus シリーズの導入実績

ProPlusは上場企業を中心に、あらゆる業種、業態、規模の企業に幅広く導入されています。

## ProPlusシリーズ 4,097社導入

(2015年9月30日現在)

【ProPlusの顧客業種】



※証券取引所の定める新業種区分 (33業種)

全ての企業に導入を頂いております。

業種	売上高ランキング におけるProPlus導入社数
食品業	上位20社中 11社
繊維製品	上位20社中 12社
化学	上位20社中 10社
小売業	上位20社中 11社
建設業	上位20社中 9社
鉄鋼	上位20社中 8社
情報通信業	上位20社中 8社
陸運業	上位16社中 7社
倉庫・運輸関連業	上位10社中 5社
不動産業	上位10社中 5社
電気機器	上位10社中 4社
精密機器	上位10社中 5社
非鉄金属	上位10社中 5社
ガラス・土石製品	上位5社中 2社
海運業	上位 5社中 3社
水産・農林業	上位 5社中 2社

シェア  
48.5%

**I 2016年3月期 第2四半期連結業績**

**II 2016年3月期 通期連結業績予想**

# 2016年3月期 業績予想

期初の通期業績予想から変更なし

(百万円)	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,515	3,800	284	8.1%
営業利益	1,172	1,175	2	0.2%
経常利益	1,181	1,185	3	0.3%
経常利益率	33.6%	31.1%	-	-
当期純利益	746	747	0	0.0%

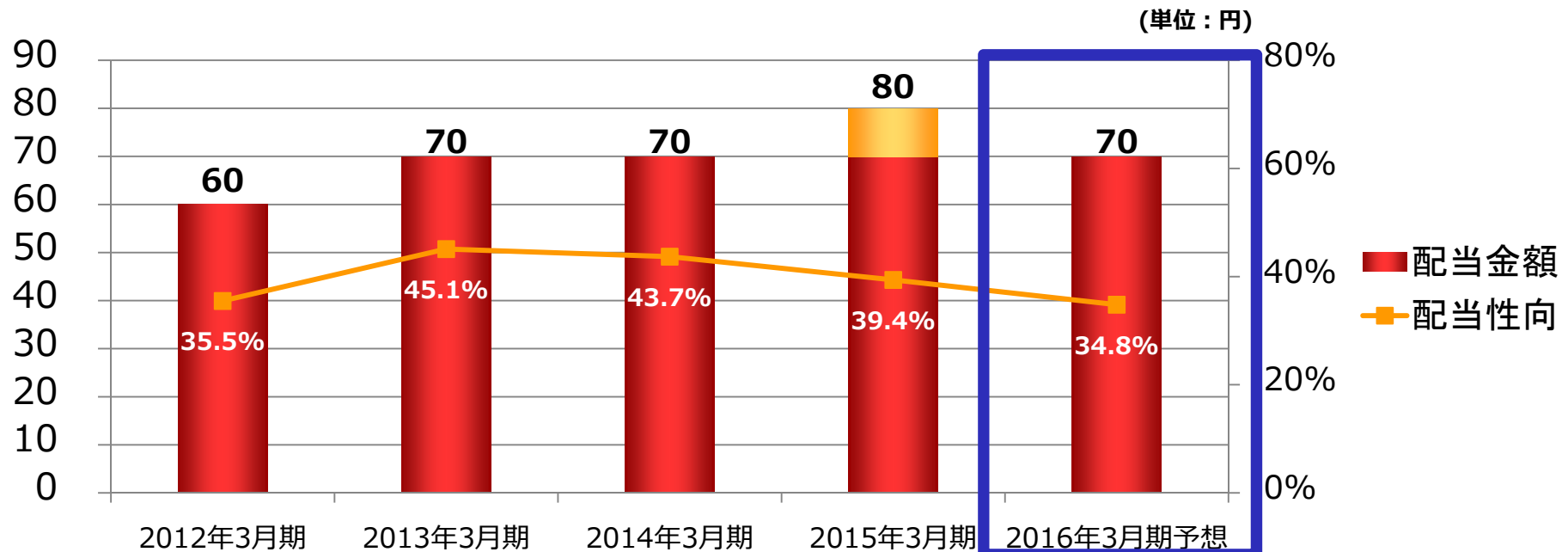
# 2016年3月期 配当予想

## ➤ 配当方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組む

## ➤ 1株当たり配当額

2016年3月期は記念配当を無くし、70円配当の予定



※2015年3月期は、10円の記念配当を含んでおります。

# 重点施策

---

- 固定資産管理ソリューションの深耕
- 販売管理ソリューションの拡大
- グローバル企業の成長に貢献する

過去数年に亘り取り組んできた、「新製品・サービスの開発」、  
「人財育成強化」等の成果を発揮し、増収増益の好循環を回していく。

# Best of Breedで他社との差別化

## 固定資産管理ソリューションの深耕

➤ 煩雑な業務課題にBest of Breedで高い価値を提供する

- 専門性・ノウハウ
- 充実のサポート
- 制度改正対応

磨く

- 優れたユーザビリティ
- 高機能・高品質
- 将来性

価値向上

拓く

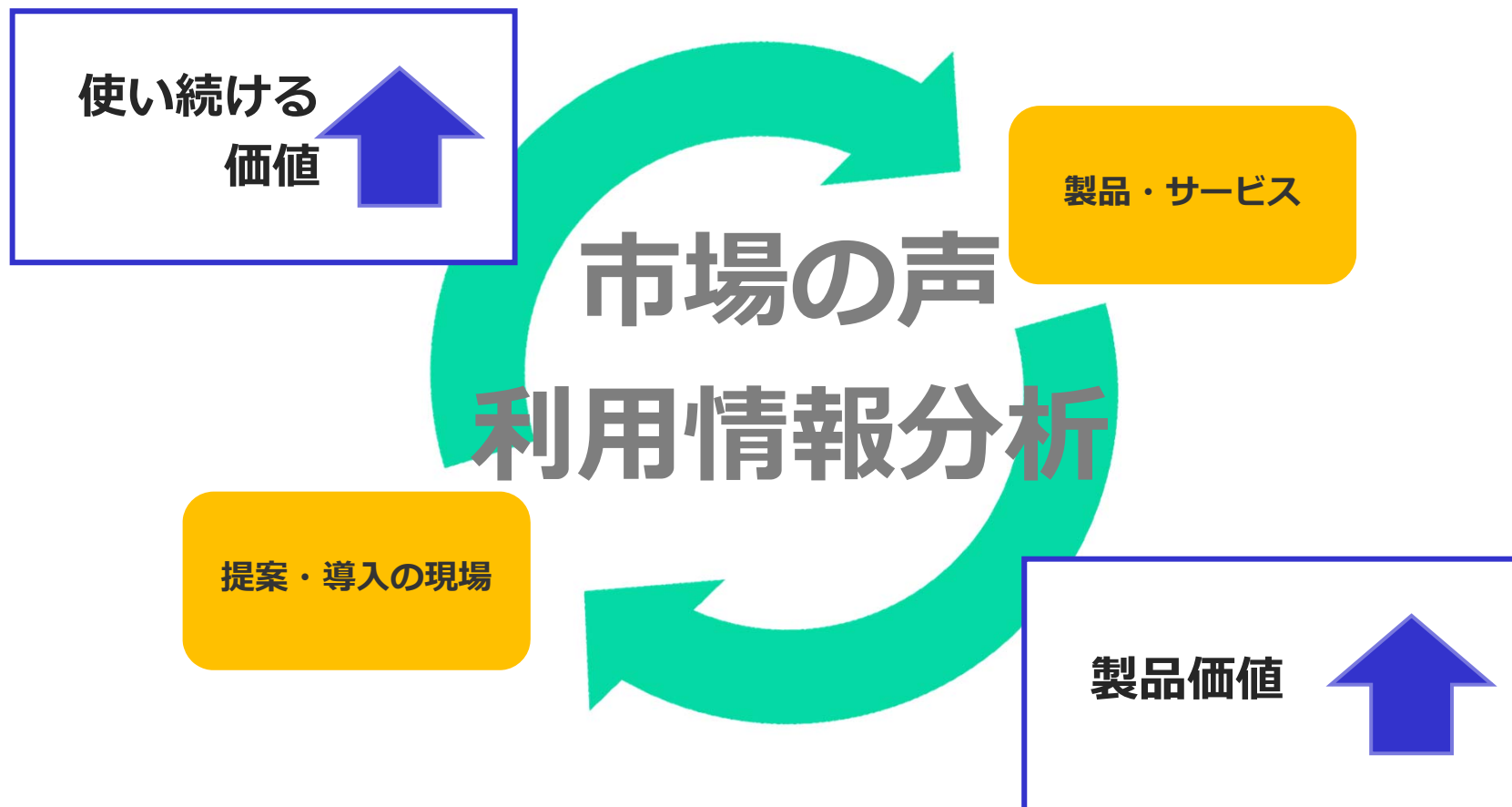
繋ぐ

※Best of Breedとは、  
各分野の最良のシステムの組み合わせで  
システム構築を行う手法。

# 既存顧客のロイヤルカスタマー化

## 固定資産管理ソリューションの深耕

市場の声 ⇒ 顧客のニーズを製品に反映させ、使い続ける価値を提供  
利用情報分析 ⇒ 利用情報に基づく分析で、顧客も気付かない新たな価値を創出



# IFRS適用社数の増加

## 固定資産管理ソリューションの深耕

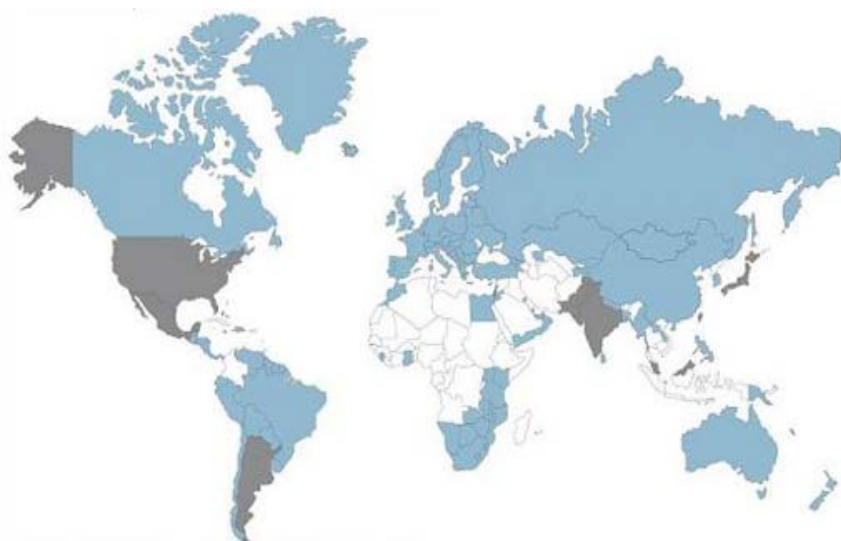
2014年度でIFRS任意適用社数は前年比**約3倍**に増加

2015年度は**150社**（全上場企業の時価総額の3割）を超える見通し

IFRS任意適用会社に占めるProPlusユーザーの比率は、**約26%**

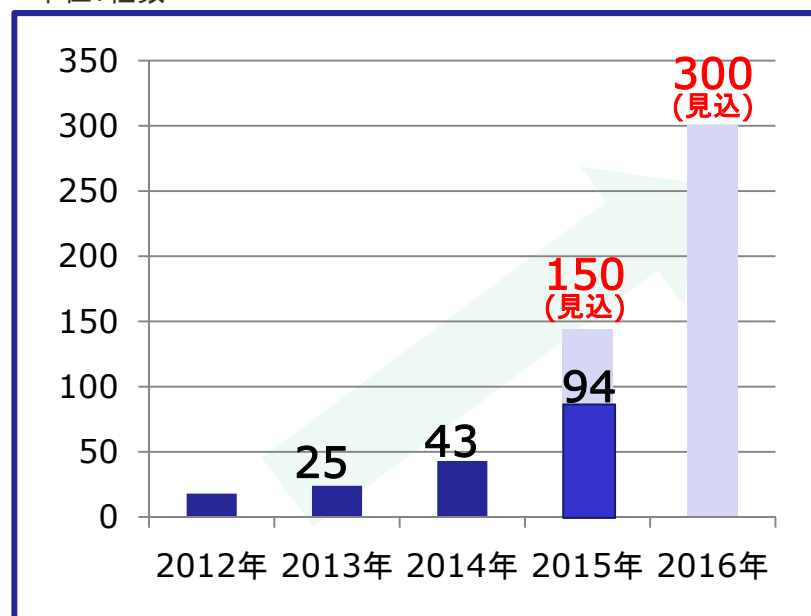
### ■ 世界にみるIFRS採用国

世界120ヶ国で適用



### ■ 日本にみるIFRS採用企業

単位：社数



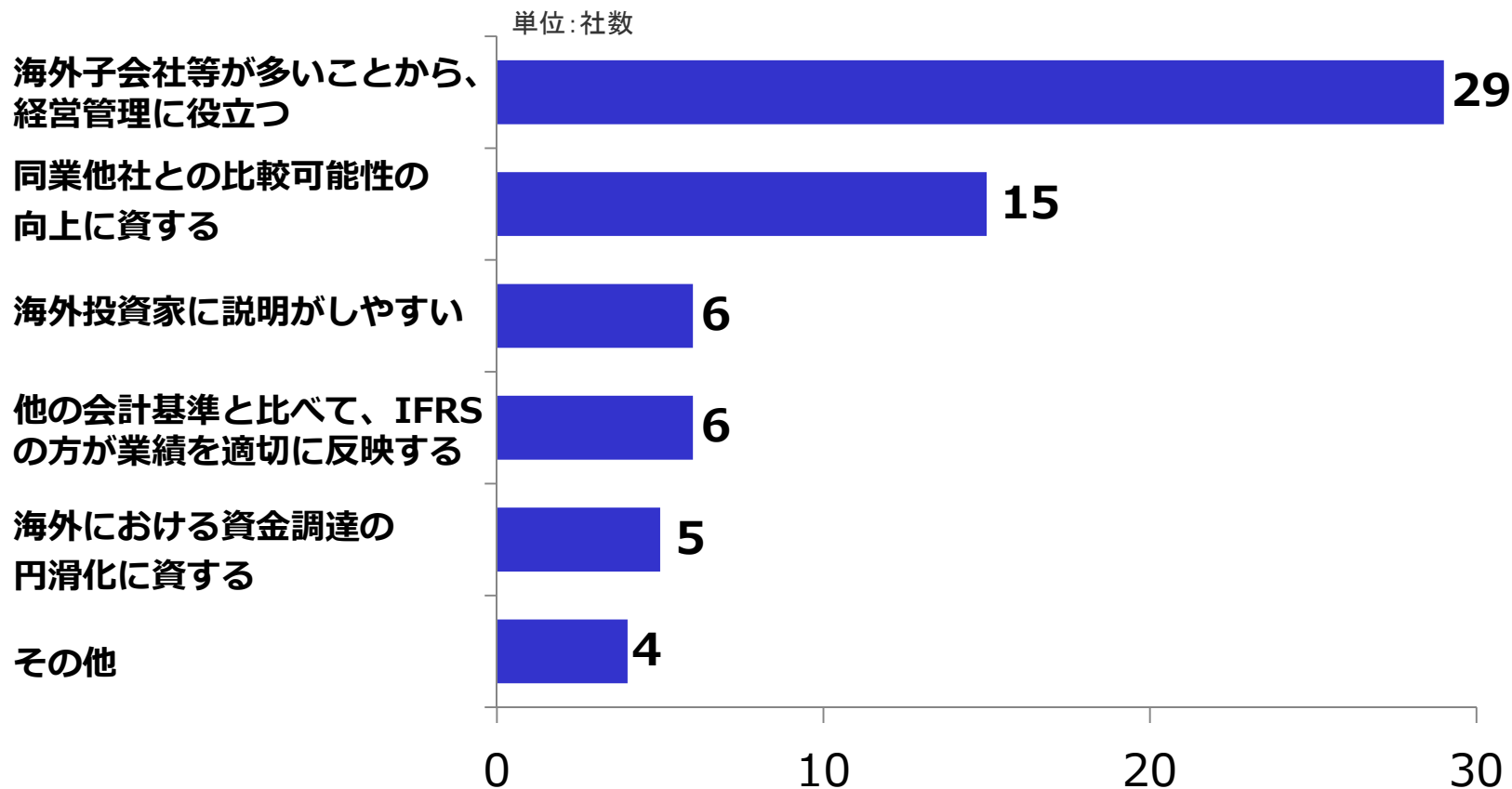


# IFRS任意適用の理由

固定資産管理ソリューションの深耕

IFRSの任意適用を決定した理由として、**44%**が海外子会社等の経営管理を理由に挙げた

## ■ IFRS任意適用の理由 ※出典:金融庁「IFRS適用レポート」



# IFRSで影響の大きい固定資産領域

## 固定資産管理ソリューションの深耕

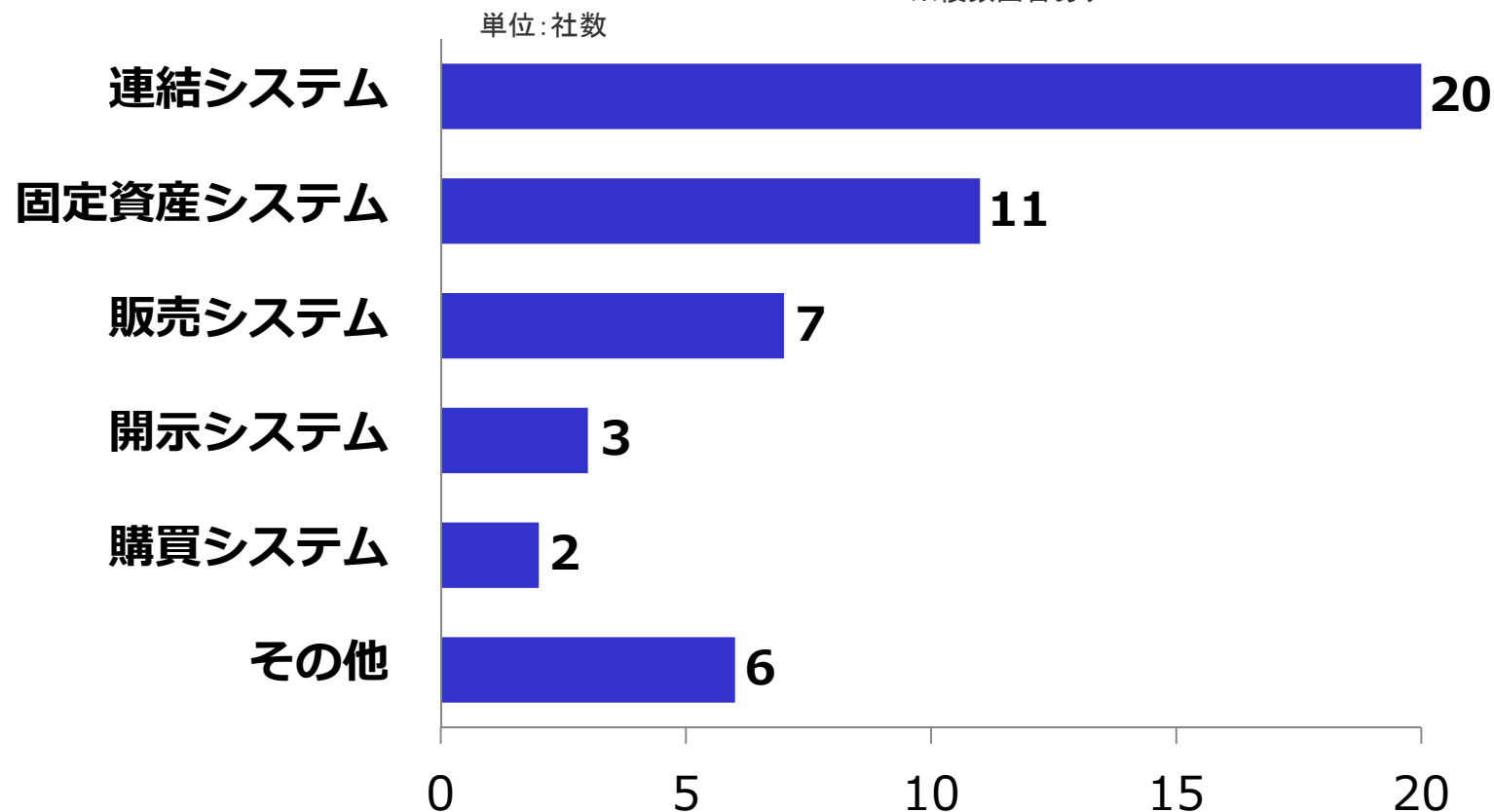


IFRSの適用に際して導入又は更新を行ったシステムの内容別回答数では、**38%**が固定資産システムを導入、刷新

### ■ IFRS適用に際して導入、更新したシステム

※出典:金融庁「IFRS適用レポート」

※複数回答あり



# 特定業種向けに多様なニーズに対応

販売管理ソリューションの拡大



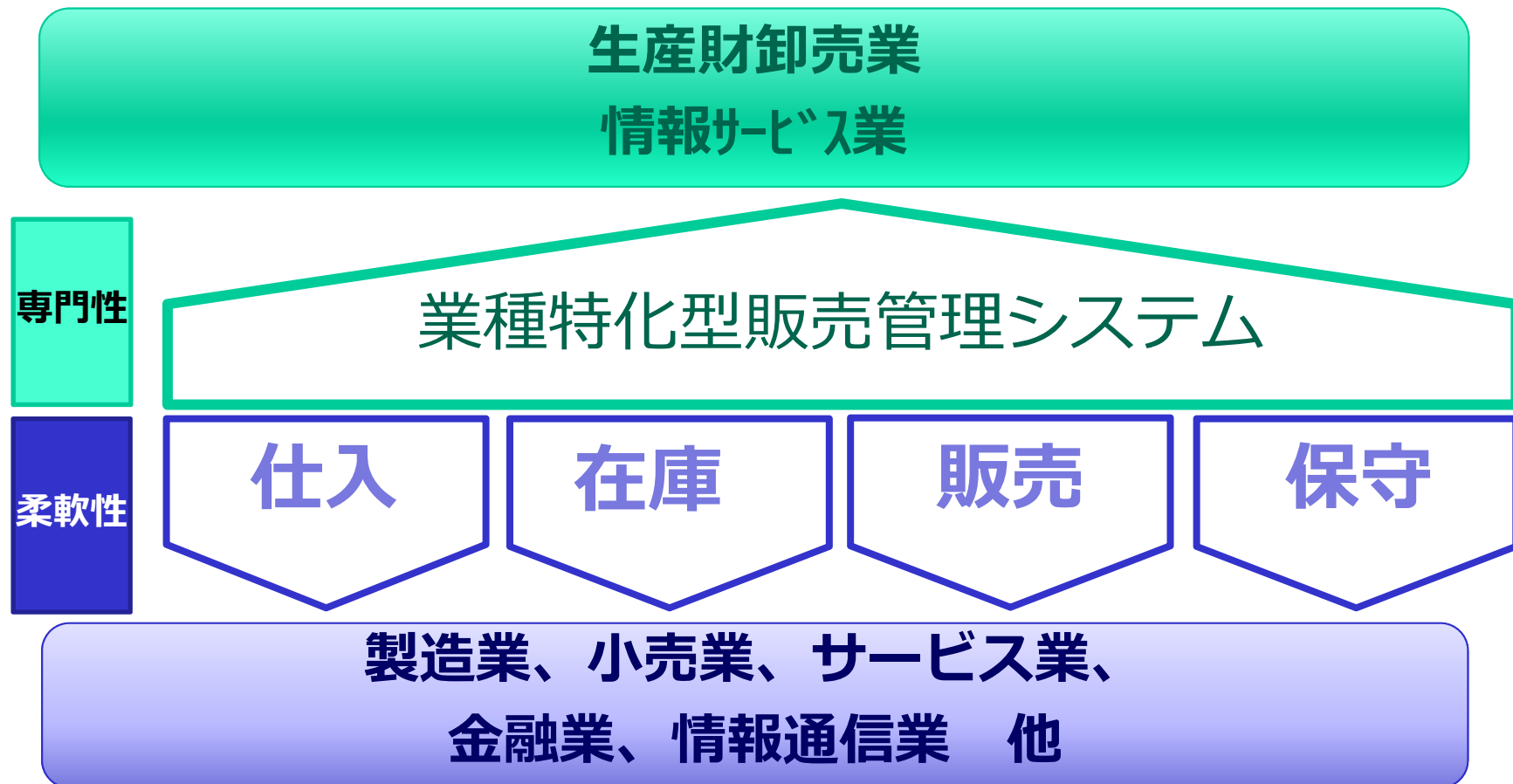
- 販売・仕入・在庫・保守の4モジュールを柔軟性の高い独自のフレームワークで企業の多様なニーズに最適なソリューションを提供します



# パッケージ+カスタマイズのハイブリッド対応

## 販売管理ソリューションの拡大

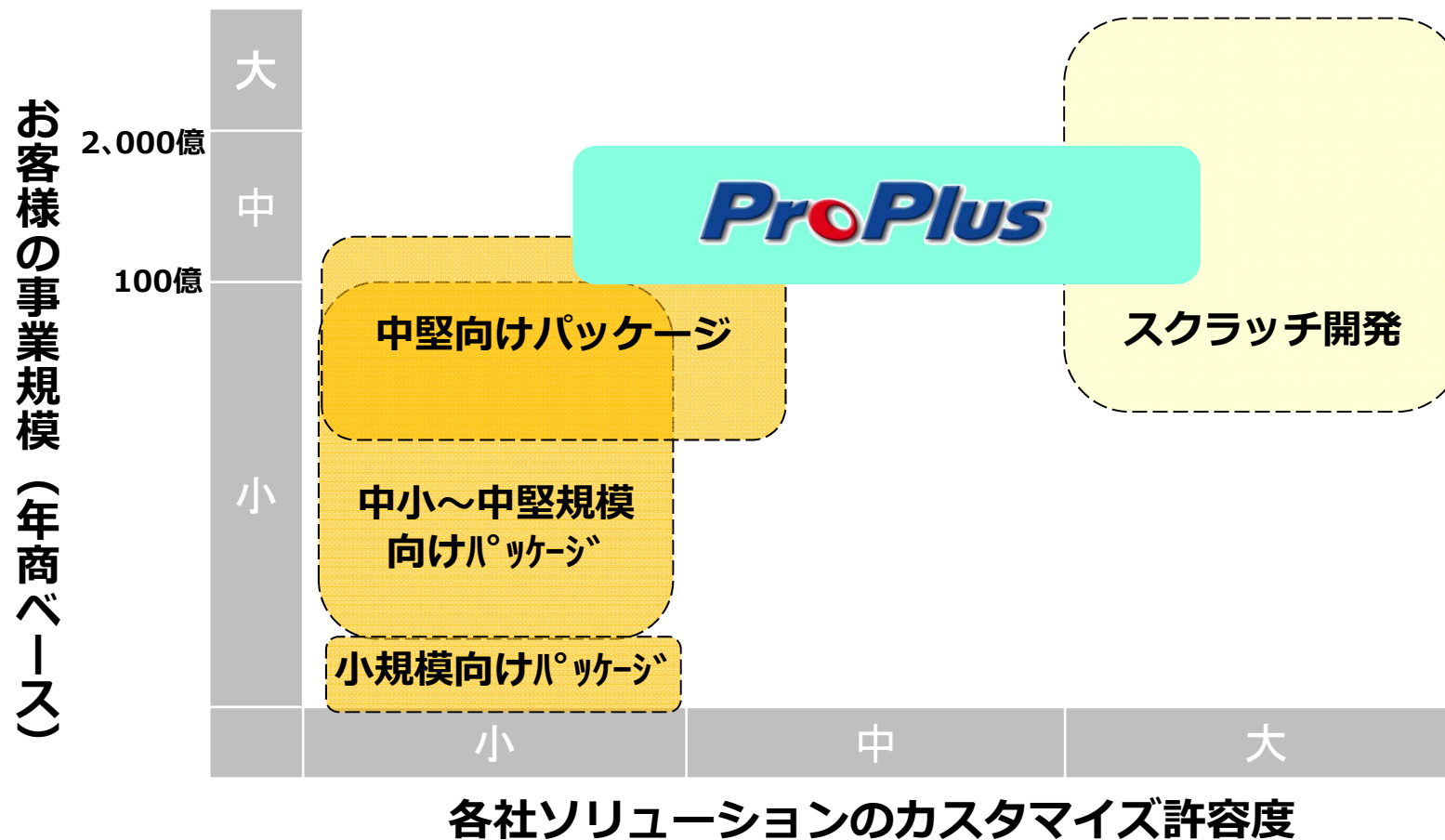
- 業種特化型の専門性を持ちつつ、モジュール分割提供+カスタマイズの柔軟性により、幅広い企業様へ導入しております



# 優良顧客基盤を活かしたアプローチ

## 販売管理ソリューションの拡大

- 販売管理ソリューションは中堅、大手市場企業をメインターゲット
- 当社がこれまで培った優良顧客基盤を活かし営業提案

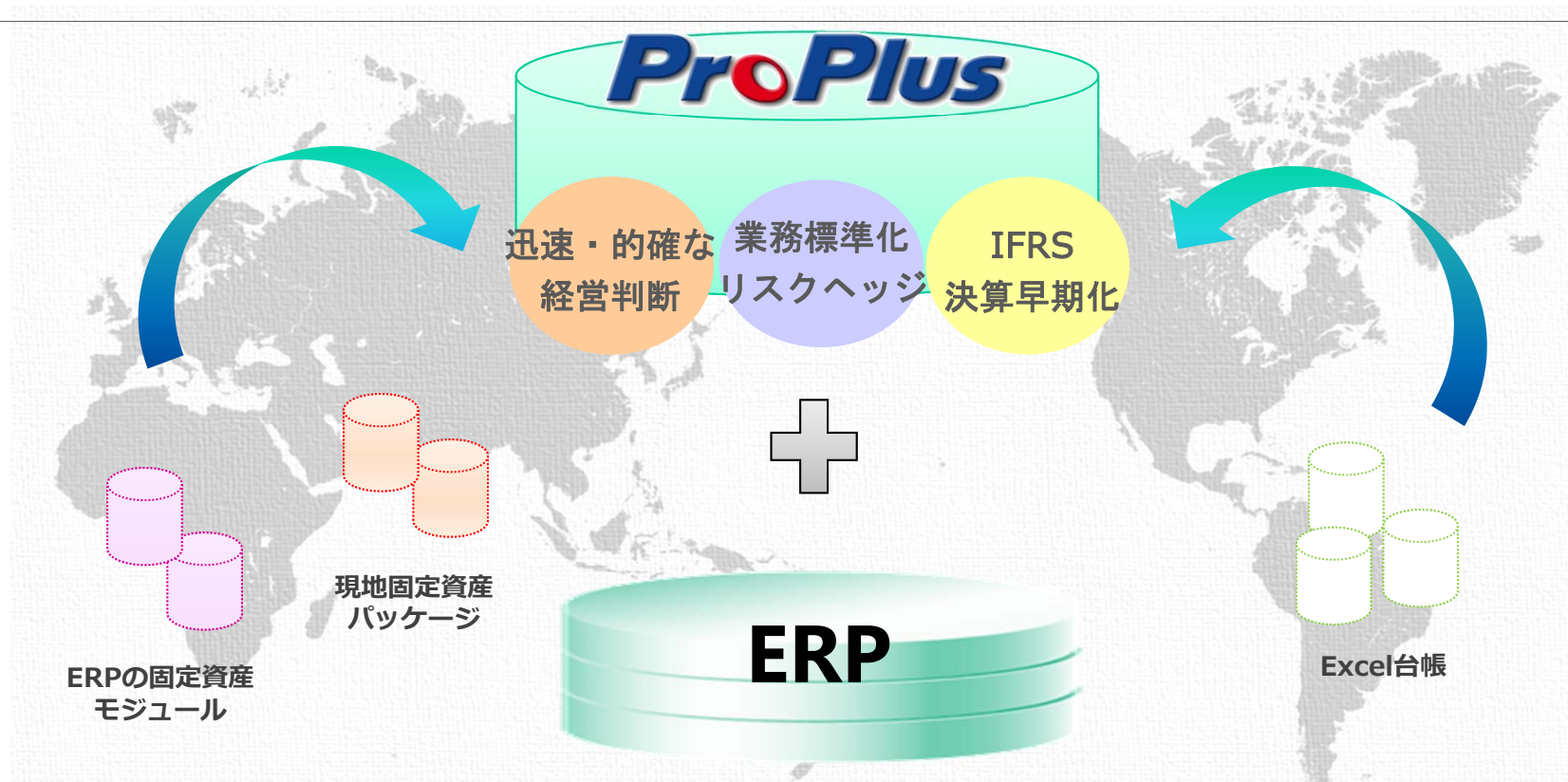


# グローバルワンシステムで応える

## グローバル企業の成長に貢献する

### 各国へのローカライズ対応

- 各国で異なる言語、通貨、商習慣、制度への対応が可能
- ローカライズが低コスト、低負荷で実現可能



各国ごとに制度が違う



税務の事前調査、システムの構築の難度が高い

# 24ヶ国対応、海外76社展開 (2015年10月末時点)

グローバル企業の成長に貢献する

➤ ProPlusは国産固定資産システム唯一の、海外税務標準対応パッケージ

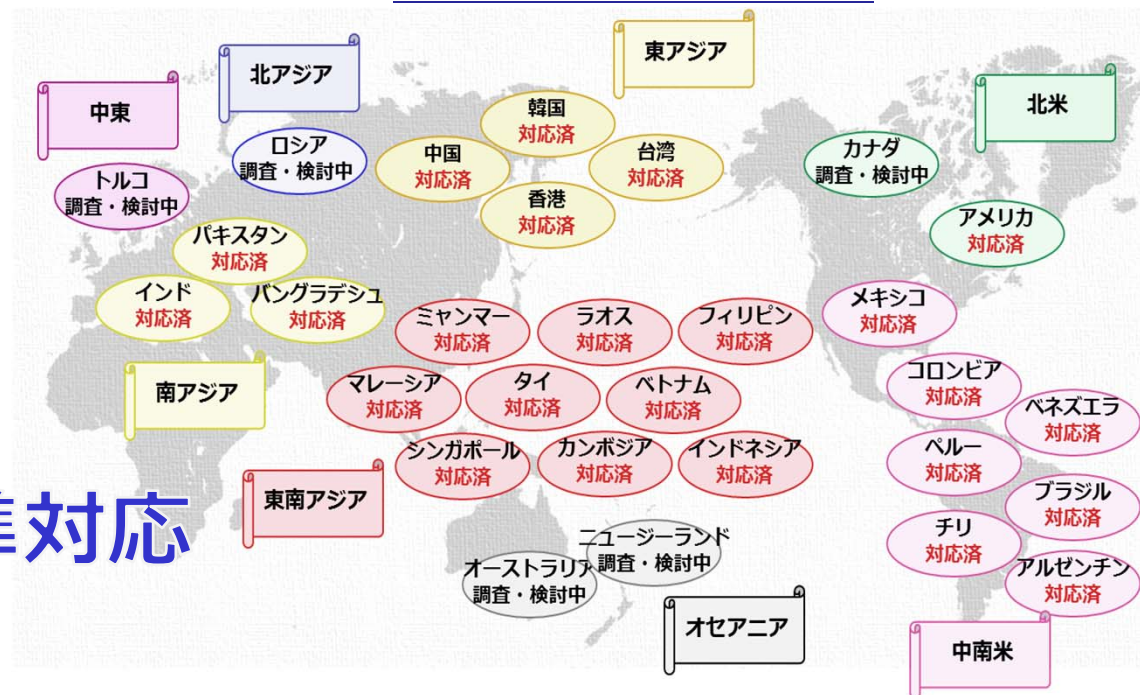
## ■ 導入実績

14ヶ国76法人

## ■ 製品対応

24ヶ国の税務標準対応

ProPlusグローバルロードマップ



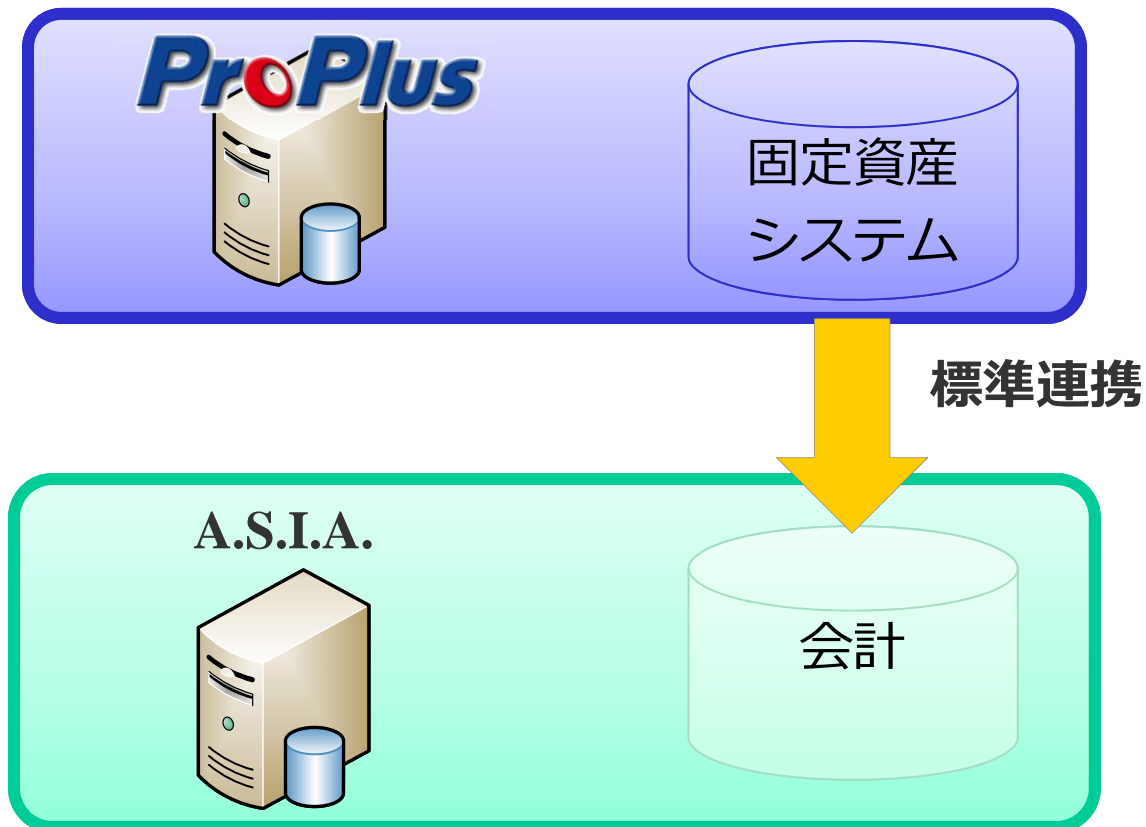
言語対応	ユーザーID毎に表示する言語：日本語、中国語（簡体字、繁体字）、英語、韓国語 が変更可能。 ※タイ語対応版を 2015年度中にリリース予定
通貨対応	会社コード毎に数値入力的小数点以下の桁数の設定が可能。 (2桁まで 例：9.99)
制度対応	各国の税法で求められる償却計算に標準機能で対応。

# B-EN-Gと協業 ProPlusと標準連携



グローバル企業の成長に貢献する

- 大手Sier、パッケージベンダー、コンサルファームとの協業を展開
- 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社（以下、B-EN-G）と協業し、B-EN-GがASEANの日系海外法人向けに当社製品「ProPlus」を販売
- ProPlusとA.S.I.A.との仕訳の標準連携が可能





---

# 本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : [kanri@proship.co.jp](mailto:kanri@proship.co.jp)

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。